

経営比較分析表（平成29年度決算）

兵庫県西脇市 西脇病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	23	対象	ド透I未訓力	救臨がへ災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
41,177	23,674	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

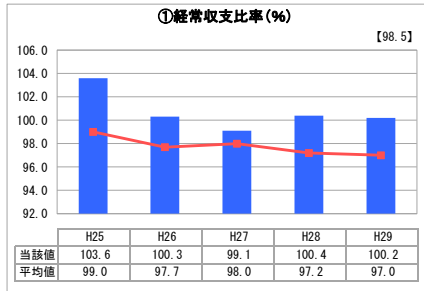
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
320	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	320
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
320	-	320

グラフ凡例

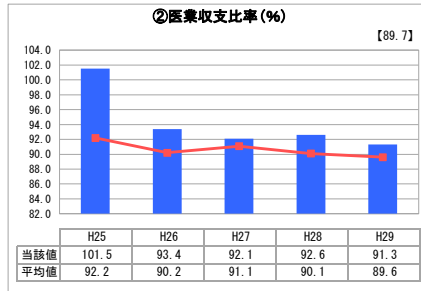
- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 平成29年度全国平均

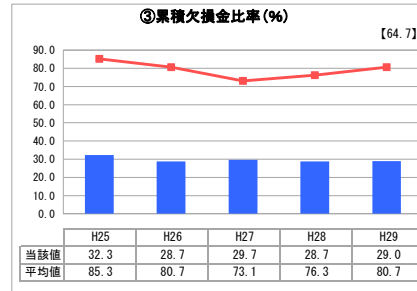
1. 経営の健全性・効率性



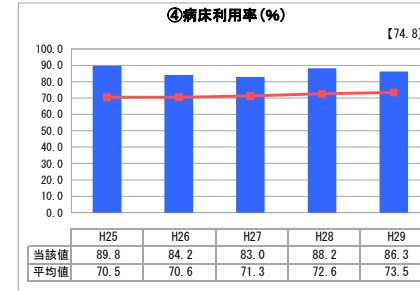
「経常損益」



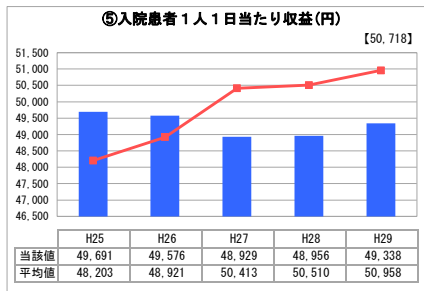
「医業損益」



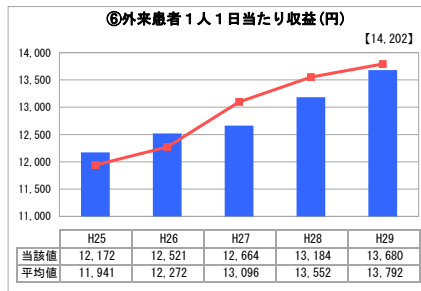
「累積欠損」



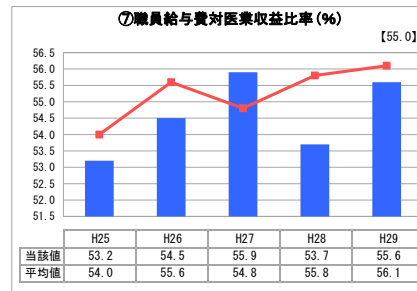
「施設の効率性」



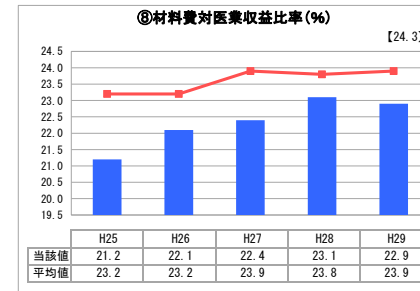
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

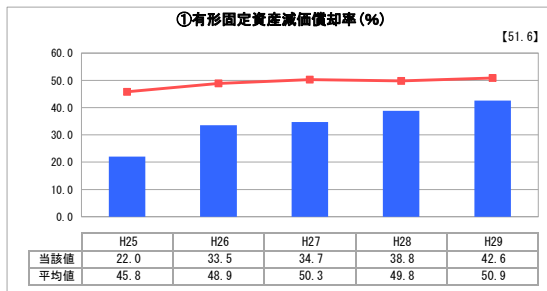


「費用の効率性①」

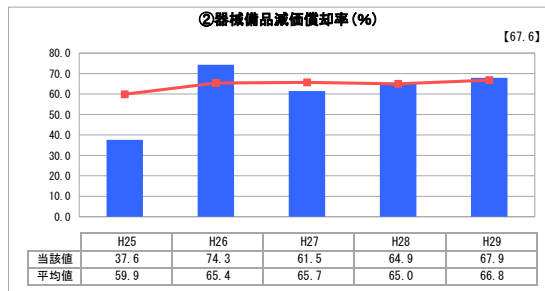


「費用の効率性②」

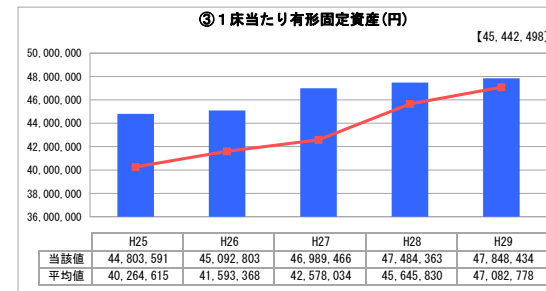
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

兵庫県保健医療計画が示す5疾病5事業及び在宅医療のうち4疾病（がん、脳卒中、糖尿病、精神疾患のうち認知症）と3事業（救急医療、災害医療、へき地医療）について指定を受け、北播磨医療圏における専門医療の提供や診療拠点の機能を担っています。
また、地域医療支援病院として、在宅医療の推進強化を担っています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

患者数の減少等に伴い、医業収支比率は92%前後を推移していますが、患者1人1日当たりの収益については増加傾向です。
また、一般会計からの繰入も加味した経常収支比率は100%前後で推移しており、平均的な公立病院に比して累積欠損金を抑制しています。
今後においても、充実した医療の提供及び費用の抑制に努め、地域のニーズに応えるべく医療体制の充実を図り、地域完結型の医療を目指していきます。

2. 老朽化の状況について

平成21年3月に新病院が完成し、グランドオープンから約10年が経過しています。
有形固定資産減価償却率は、類似病院平均より低い一方で医療機器等の更新の需要が高まっています。電子カルテについては、平成27年11月に更新しました。医療情勢に留意しながら、計画的に更新していきます。

全体総括

北播磨医療圏における北部の拠点病院としての役割が求められています。その役割を果たすため、人材を確保し、適切な機器整備を行い、経営基盤の確立を目指します。
また、地域包括ケアシステムを構築し、医療と介護の連携を進め、DPC医療制度により、効率的で効果的な医療サービスの提供を行います。新規入院患者数の増加を図るとともに、効率的に病床管理を行い、収益の確保に努めます。
今後とも医療介護福祉制度改革などの動向に留意しながら、健全な経営を目指します。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。